

＜^{ふじおか}藤岡地域＞

■三井寺伝説

^{しょうあん}承安四年(1174)のこと、牛若丸が^{やまぶし}山伏姿となり、僧姿の^{べんけい}弁慶を供にし、商人金売吉次の案内で^{ひらいずみ}平泉に向かう途中、^{みかも}三鴨駅のところで、日はとっぴりと^く暮れてしまった。そこで、三井寺に一夜の宿を^こ乞うたのだが、^い容れられなかった。

^{べんけい}弁慶は、大いに怒り、寺の^{しょうろう}鐘楼の^{かね}鐘を持ち上げるや、^{せいりゅうだけ}青竜岳の山頂にて打ち鳴らし、打ち裂き落し、たらい^{くぼ}窪に落としてしまった。